



## 先端医療とデザイン (仮)

今回はkk塾2013の最終回として2014年3月28日(金)  
大阪大学大学院医学系研究科の「澤芳樹」さまを講師として  
お招きする予定です。先端医療とデザインをテーマとする次回に  
ご興味のある方はぜひご参加ください

### 第5回KK塾 開催案内

2014年3月28日(金) 14:00-17:00 大阪大学中之島センター 302号室

Vol. 6



## 先端医療とデザイン (仮)

澤 芳樹

大阪大学大学院医学系研究科  
外科学講座  
心臓血管外科教授

川崎 和男

デザインディレクター  
医学博士

大阪大学大学院が設置した「危機解決産業創成デザイン重要拠点」では、工学系・医学系を中軸に「危機管理学プロダクトデザイン寄附講座」を開設しました。

この「寄附講座」をご支援し、提示するプロジェクトは、「産官学」と「知財権確立」によって運営されます。したがって、「KK塾」の各プロジェクトに参画、あるいは四つの講座受講をいただいた、企業・行政、あるいは個人は、「情報化」訴求されます。具体的には、記号化された広報と広告によって、「存在価値」が訴求されます。そして、この実務手法こそ、この「国難」時からのスタートを意味します。ご参画を期待しております。

危機解決産業創成デザイン重要拠点 研究開発・講座開設



- ・目標：地球環境における天災的な危機回避と新エネルギー開発での危機解決
- ・目的：具体的には、危機管理学プロダクトデザインとして、目標に到達するための産業の創成と革新をめざす。

四つの講座を開設し、それぞれの講座にはそれぞれの専門家を講師とし、講座講義・講演とともに、具体的なワークショップと産業活性化の実務をデザインによって、先導と主導を果たしていきます。

「KK塾」デザイン講座概要



「3D-PRINTING」先導

未来の生産工程一新化  
Rapid Prototyping情報  
基幹情報の収集と発信  
日本独自の新技术づくり  
技術とデザインの融合

「地場産業」革新化

デザイン先導での技術革新  
技術の詳細化を美学的展開  
輸出、特にBOP事業化  
中小企業特色づくり  
働きがいと生きがいの創出



「危機管理産業」を対象

危機管理学での制度化を  
危機管理デザイン工学創出制度設計から  
形態設計をデザイン工学新分野創設  
顕彰制度の中核として

「伝統工芸」産地再興化

伝統は継承するのではなく  
先人の知恵を新技术と  
あらたなデザイン思想で  
革新化をめざす。  
日本の「美」を後世に連鎖



大野 ゆう子 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻  
教授

### “Phenomenal design for the innovative healthcare”

- ・大変化の時期を迎えた看護師教育
- ・Innovativeな医療、看護、そのための看護と工学の融合
- ・Phenomenal design

生田 幸士 東京大学 大学院情報理工学系研究科システム情報学専攻  
同 先端科学技術研究センター 兼務

### 「未来医療マイクロデバイスは災害危機を乗り越えられるか？」

医用マイクロマシンやマイクロ手術ロボット、化学 IC チップ、再生医療用デバイスなど日本発信の新原理、新概念に基づく医療機器を開発してきた。昨今、地震災害後も 安定に稼働できる医療機器や、災害についての公正な情報公開の場として災害支援学会の 設立提案など医工学からの貢献策と、創造性教育のユニークな取り組みについても紹介する。

長谷川 秀夫 HIREC株式会社  
代表取締役社長

### 「宇宙開発とリスク管理のアプローチ」

HIREC株式会社は、次世代の高度な宇宙機システム/機器に対応した高信頼性部品の開発を進めるため、JAXA殿の部品プログラムの一翼を担い、HR5000S(高性能64Bitマイクロプロセッサ)、B-SRAM(バーストSRAM)などの日本独自の高信頼性部品の開発、欧州との共同によるSOI-FPGA(完全空乏層型)の開発など、宇宙用部品開発のトップ企業として、最先端の宇宙用部品の開発・供給に取り組んでおります。

石黒 浩 日本のロボット工学者  
大阪大学特別教授 ATR石黒浩特別研究室室長

### 「人を知るためのロボット研究」

1963年滋賀県生まれ。大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻教授・ATR石黒浩特別研究室室長(ATRフェロー)。工学博士。社会で活動できる知的システムを持ったロボットの実現を目指し、これまでにヒューマノイドやアンドロイド、自身のコピーロボットであるジェミニオイドなど多数のロボットを開発。2011年大阪文化賞(大阪府・大阪市)受賞、2013年大阪大学特別教授。最先端のロボット研究者として世界的に注目されている。

原 雄司 株式会社ケイズデザインラボ  
代表取締役社長

### 3D-PRINTER 戦略と3D-PRINTING 戦術

大手メーカーの試作現場、開発部門を経験。格闘家続けながら金型用3次元CAD/CAMメーカーに転職し、開発責任者、子会社社長、IR担当などを経験。1990年代に切削RPを提唱し「机の上でのづくり」を推進。2006年にケイズデザインラボを設立。2012年「デジタルシボD3テクスチャー」で東京都ベンチャー技術大賞奨励賞を受賞。2012年に3DスタジオCUBEをイグアス社と共同発案。ものづくりカフェ「FabCafe」と連携しデジタルものづくりの体験スペースを運営中。



澤 芳樹 大阪大学大学院医学系研究科外科学講座 心臓血管外科学教授  
大阪大学大学院医学系研究科 副研究科長

### 先端医療とデザイン(仮)

平成22年5月 大阪府医師会 副会長、平成22年6月 大阪大学臨床医工学融合研究教育センター センター長  
平成24年4月 京都大学IPS細胞研究所 特任教授、8月 大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 部長  
平成25年1月 大阪大学医学部附属病院ハートセンター センター長、4月 大阪大学大学院医学系研究科 副研究科長  
5月 大阪大学医学部附属病院 国際医療センター センター長

## あとがき

『デザイン医工学を現実化支援したドクター』

医療は古代より術としてありました。  
その医療を裏付けた医学は本来はartであったと言われています。  
大学という教育機関も、医学・法学・宗教学が根本でした。  
そして現在の医学に連鎖してくるのは19世紀からと考えられます。  
私が医学に興味をもったのは、作家の多くが医師だったことや、  
大学でラテン語が学べるのは医学部という話を信じていたことです。  
結局、高校時代の志望校は医学部でしたが、浪人時代には、  
美大を選択しました。  
「赤い血を見るより、赤い絵の具を」と母に言われて、  
デザイナーを職能にしましたが、  
学位は医学博士となるために、専門的には、  
血液と循環と呼吸を生理学として学び、  
それが「人工心臓デザイン」の基本になりました。  
さらに阪大に転籍してからは「未来医療センター」に  
参画をさせてもらいながら、  
二度も重篤状態から救われました。  
それを可能にしてくれたドクターが澤教授です。  
彼こそ、心臓移植・再生医療・iPS細胞の臨床化では、  
国際的にも第一人者です。  
今回は、彼から「医学と医療」全体を講義していただきます。  
医学の全貌を学んでいただくことが目標です。  
私は医療を臨床医学としたとき、  
反健康＝病気・半健康＝一病息災・範健康＝保健という実現に  
医工連携＋デザインを考えています。  
彼とはその「デザイン医工学」を語り合いたいと考えています。

川崎和男

## プログラム概要

<b>趣 旨</b>
講師の専門分野を元に 危機管理産業・3dprinter・伝統工芸産地再興化・地場産業革 新化について総合的な視点で語る。
<b>会 場</b>
大阪大学中之島センター 〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53 TEL 06-6444-2100
<b>受講料</b>
個人：6回 50,000円(税込み)/ 1回 10,000円(税込み) 企業：6回 10万円(税込み)/ 2名まで 3回目からは一回1万円
<b>主 催</b>
有限会社オーザックデザイン 川崎和男
<b>日 程</b>
2013年10月 - 2014年3月(月一回全6回) ・ 第1回：2013年 10月 25日(金) ・ 第2回：2013年 11月 22日(金) ・ 第3回：2013年 12月 20日(金) ・ 第4回：2014年 01月 31日(金) ・ 第5回：2014年 02月 28日(金) ・ 第6回：2014年 03月 28日(金)
<b>タイムテーブル</b>
14:00 - 17:00(3時間) ・ 13:30 -14:00 受付開始 ・ 14:00 -15:30 KK塾講演(1h30m) ・ 15:30 -15:40 休憩(10m) ・ 15:40 -16:55 講師×川崎和男対談(45h)・質疑応答(30m) ・ 16:55 -17:00 KK塾閉会

### 【お問い合わせ先】

有限会社オーザックデザイン  
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 U4  
Tel : 06-6877-8637/Fax : 06-6878-8593  
info@ouzak.co.jp

